

思いやりのある，笑顔の美しい子どもの育成

～ 児童の体験活動を通して～

目標・ねらい

実際に動植物を育てる体験を通して，生き物への思いやりの気持ちを育てていく。
植物の栽培などを地域の方々の協力を得ながら実施していく中で，相手の気持ちを考えて行動したり，感謝の気持ち表したりできるようにする。

教育課程上の位置づけ
全教育活動

事前指導・経緯

命の大切さを考える場合，自分たちで実際に動植物を育てていく体験は，とても大切である
と考える。

本校では，下記に示す様々な体験活動をとおして，生き物への思いやりの心，命を大切に
する態度を育ていけるよう努めている。また，地域の方々の協力を得ながら活動を進めて
いく中で，責任感や自主性等を育ていくと共に，感謝の気持ちを表せるようにしたい。

また，総合的な学習の時間には地域の老人福祉施設の訪問や各種行事への独居老人の招待
などの活動にも取り組み，思いやりの心を育ていけるよう努めている。

思いやりのある，笑顔の美しい子どもの育成

動植物の飼育・栽培活動

委員会活動

- ・飼育委員会（「ごきげんハウス」
内の動物の世話 他）
- ・栽培委員会（学校園の管理・一人
一鉢桜草栽培コンクール 他）

教科等

- ・理科（かいこの成長記録）
- ・生活科（野菜栽培，昆虫や
小動物の飼育～生き物大好～）
- ・道徳，学級活動での指導

総合的な学習の時間 資料1、2

- ・さつまいも栽培（全校） 栽培場所の提供，苗の提供，栽培指導
- ・一人一鉢菊づくり活動（6年生） 苗の提供，栽培指導
- （その他の活動）-----
- ・地域の福祉施設への訪問活動（5，6年生） ・ひとり暮らし老人の招待



地域・保護者の協力

菊の栽培指導 さつまいも畑の提供と栽培指導 いも苗の提供
合鴨農法講師 学校園の除草・管理 福祉施設の協力

実施内容

1 委員会活動

(1) 飼育委員会の活動

年間の目当てを確認する...正門脇にある「ごきげんハウス」にいる動物たち(にわとり4羽,うさぎ3羽,かめ1匹)の世話をしっかりやろう。

日常活動...昼休みにえさと水の補充,及びハウスの簡単な清掃を行う。

委員会活動の時間...ハウス内外の清掃及動物とのふれあいの時間とする。

鳥インフルエンザ,その他病気等への適切な対応。

保護者,地域からのえさ(野菜類)の提供。

(2) 栽培委員会の活動(一人一鉢の桜草栽培コンクール)

委員会で,実施案を検討(児童の育てた桜草を卒業式に飾ろう)し,呼びかけるパンフレットの作成をする。

委員会児童で育てた苗を,各自が持ち寄った鉢に植え替えて栽培する。できばえをお互いに賞賛すると共に,卒業式を自分たちの栽培した花々で飾る。

2 総合的な学習の時間

(1) 菊づくり(6年「ぼくもわたしも菊づくり名人」)

菊づくりのやり方を本やインターネットなどを使い調べる。栽培資料を作成する。

菊づくり名人(地域の愛好家の方)の指導を受けながら,初夏,夏休み,秋へと長期に渡り,成長を見守りながら栽培していく。(植え替え,水やり,消毒,支柱立て)

・名人との事前打ち合わせ。 ・鉢,土,肥料,支柱等,材料の準備。

・夏休み中の水やり計画。 ・消毒等を実施する場合の配慮。 他

(2) さつまいも栽培

栽培場所(畑)の提供を受ける。児童は,畑の所有者から苗の植え方や草取り,収穫方法等を具体的に教えていただく。多数の苗も地域の方から提供を受けている。

協力いただいた方々を招き,さつまいもを食べながら,収穫を祝う会をひらく。

栽培場所(畑)への行き帰りの交通安全に十分配慮する。

3 教科等を通して

(1) 生活科(2年「生きもの大すき」)

昆虫や生き物を飼う活動を通して,生き物の成長や命の不思議,また生き物の死についても考えていく。

校内のプール清掃時にヤゴやアメンボを自ら捕まえて,大切に育てトンボが羽化した姿に驚きと感動の体験をする。

校内での飼育以外に,校外学習(勝浦の鵜原海岸)で海辺の生き物にふれる機会を作る。(保護者の協力を得ながら)

事後指導

委員会活動では,学期毎に活動を振り返り,活動の反省をし,改善を図っていく。いろいろな活動に協力していただいた地域の方々への感謝を気持ちを忘れないように,感謝の会を開催したり,お礼の手紙を書かせたりする。

昆虫や小動物については,命の不思議や死について作文など書きながら考えさせる。道徳や学級活動の時間を通して,動植物を育てることの苦労や,生命の不思議,収穫への感謝等を話し合わせていく。

取組の評価

ごきげんハウスは,正門前にあり全校児童が直接小動物を見ることができ,生き物を可愛がっていこうという意識が広がってきている。

植物を児童一人一人が責任を持って栽培していく活動を通して,やさしさや思いやり,また責任感も育ってきている。

地域の方々の指導を受けることで,生き物を育てる大変さや生命の不思議さを身をもって理解できると共に,指導者への感謝の気持ちが育っている。

直接「命を大切に」という表現を使うことはないが,これらの体験活動を通して,本校の教育目標である「思いやりのある,笑顔の美しい子どもの育成」に少しずつ近づいていくものと考えている。

資料1 「総合的な学習の時間」単元活動案（部分）

第5学年（16時間扱い）

単元名		育て わたしのさつまいも		
目 標		さつまいもづくりの体験を通して、さつまいもへのかかわりを様々な形で自分のものとして表現し、収穫や伝える喜びを味わうことができる。		
過程	ねらい	学 習 活 動	評 価 の 規 準	教科との関連
つ か む ふ か め る ま と め る ひ ろ げ る	活動の目的が分かり、見通しをもつことができる。	1 さつまいもについて知っていることを話し合う。 2 さつまいもについて調べる。（植物としての特徴，種類，栽培方法，歴史など） 3 さつまいもを栽培するための畑をつくる。（除草，耕す，畝を立てる） 4 さつまいもを育てるためのグループを編成し，植え付けから収穫までの見通しをもって当番などの相談をする。	<関・意・態> さつまいもに関心を持ち，調べたり，育てたりしようとしているか。 （活動の様子）（学習ノート）	理科 社会
	グループの友だちと協力して、さつまいもの世話をすることができる。	1 さつまいもを植える。 2 さつまいもの成長の様子を観察しながら世話をする。 3 問題が発生したら本で調べたり，農家の人に聞いたりして解決する。	<資料活用能力> 本などで調べたり，地域の人に聞いたりすることができたか。 （活動の様子）（学習ノート） <問題解決能力> 友だちと協力して，世話をすることができたか。	理科 社会
	植え付けから収穫までをまとめたり分かりやすく伝え、収穫の喜びを味わうことができる。	1 調べたことや栽培をとおして感じたことをまとめる。 2 収穫したさつまいもを調理して，収穫の喜びを味わう。	<表現能力> さつまいもを育てた体験をまとめ，発表することができる。 （発表）	理科 家庭科 国語



今日は、いも苗の植え付けです



いよいよ収穫（芋ほり）の日を迎えました



大きくて立派ないもがとれました



いも料理を作りました。おいしいよ！

資料2 各活動の様子



飼育委員会（ごきげんハウス前にて）



飼育委員会（ハウスの中はいつもきれいに）



菊の栽培1（名人から植え方の説明を聞く）



菊の栽培2（土づくりが大切です）



菊の栽培3（支柱を立てる作業です）



菊の栽培4（毎日のみずやり作業は大変です）



2年生活科（生き物のすみかを工夫しよう）



2年生活科（鵜原海岸で磯の生物を探します）